



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 東和薬品株式会社

コード番号 4553 URL <https://www.towayakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田逸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 田中政男 TEL 06-6900-9102

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	115,251	36.5	14,786	4.7	13,045	△15.5	9,447	△13.9
2020年3月期第3四半期	84,405	7.8	14,122	18.1	15,430	6.0	10,969	4.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 9,610百万円 (△12.9%) 2020年3月期第3四半期 11,033百万円 (6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	191.96	187.48
2020年3月期第3四半期	222.92	206.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	237,673	111,740	47.0
2020年3月期	230,016	104,665	45.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 111,740百万円 2020年3月期 104,665百万円

(注) 2021年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2021年3月期	—	22.00	—		
2021年3月期（予想）				22.00	44.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	38.6	19,500	20.8	17,500	△16.6	12,600	△13.1	256.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	51,516,000株	2020年3月期	51,516,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,301,475株	2020年3月期	2,301,793株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	49,214,306株	2020年3月期3Q	49,209,105株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、厳しい状況で推移しました。感染拡大の防止策を講じつつ、昨年5月の緊急事態宣言解除後、社会経済活動のレベルが段階的に上げられていくなかで、極めて厳しい状況から持ち直しの動きが見られるものの、足元では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が再び増加傾向となる等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。世界各地域においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大、都市封鎖等による経済の減速から回復基調となった期間でしたが、今後の更なる感染拡大等のリスクは依然残っております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響としては、販売面におきまして、患者の受診抑制等による影響があったものの、グループ全体の売上への影響は軽微なものとなりました。また、生産面におきましても、海外での都市封鎖や外出制限等により、原薬の調達に一部影響がありましたが、原薬の複数購買化等により安定供給への影響は限定的なものに留まり、現在はほぼ解消されております。

以上のように、当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の感染拡大が当社グループの業績に与える影響は軽微ですが、今後の感染拡大の状況が長期化・深刻化した場合には、通期の業績に影響を及ぼす可能性があります。

ジェネリック医薬品業界では、2017年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」において、「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する。」ことが決まり、これを受けて2018年4月の診療報酬改定以降、各種施策が講じられました。さらに2020年4月の診療報酬改定においても、引き続き「後発医薬品やバイオ後続品の使用促進」策が決まり、ジェネリック医薬品の普及が進んだ結果、2020年9月の数量シェアは78.9%(2020年7-9月期 日本ジェネリック製薬協会調べ)となり、目標をほぼ達成しました。

一方、2019年10月と2020年4月に薬価改定が実施され、また、7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020」において言及されている通り9月に薬価調査が実施され、2021年4月に薬価改定が行われることが決定しました。このように、2021年度以降は2年に1度の通常の薬価改定に加え、中間年における薬価改定が行われ、毎年薬価改定になるという方針が決定しているため、今後医薬品業界にとって非常に厳しい状況が続くことが想定されます。

以上のような状況のもと、当社グループにおいては、2018年5月に発表した「中期経営計画2018-2020 PROACTIVE」に基づき、国内ジェネリック医薬品事業を基盤としつつ、新規市場への進出・新規事業の創出など、いつの時代も世の中や地域社会に必要とされる企業となるべく各種課題に取り組んでおります。

昨今の医薬品における品質や安全性に起因する各種問題により、医薬品業界の置かれる環境は厳しさを増しておりますが、当社は品質管理面において医薬品の製造管理及び品質管理の基準である GMP 省令やその他関連する法令遵守はもちろんのこと、国際基準の導入や独自の制度・教育訓練で特に GMP 三原則の中で示されている「人為的な誤りを最小限にすること」の意味することを正しく理解し、医薬品の適切な品質と安全性の確保に取り組んでおります。また、安定供給体制の維持・強化のため、原薬の複数購買化や製造所の監査等を推進し、グループ全体として原薬製造から製剤製造、物流、販売に至るまで、ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを継続して行っております。

このような当社の基本的考え及び取り組みの下、販売面に関しては、6月に新製品10成分22品目を初年度3,200百万円の売上計画で販売を開始し、12月には新成品2成分10品目を初年度770百万円の売上計画で販売を開始しました。また、生活改善薬として7月に『バルデナフィル錠10mg/20mg「トロー」』、10月に『デュタステリドカプセル0.1mgZA/0.5mgZA「トロー」』、11月に『タダラフィルOD錠10mgCI/20mgCI「トロー」』を発売し、当社のジェネリック医薬品の製品数は343成分770品目となりました。

新規市場への進出として、前期にスペインの大手医薬品メーカーである Corporación Químico Farmacéutica Esteve, S.A. 及び Esteve Pharmaceuticals, S.A. (本社: スペイン・カタルーニャ州) より買収した Pensa Investments, S.L. (本社: スペイン・カタルーニャ州、現商号: Towa Pharma International Holdings, S.L. 以下「Towa HD」という) を通じて欧州及び米国市場での事業展開を果たしました。今後も Towa HD が持つ、欧州複数国及び米国での販売網と、欧州にある欧米等の基準に準拠した製造拠点を活用し、さらなる事業展開を目指してまいります。

新規事業の創出として、いつの時代も世の中や地域社会に必要とされる企業を目指し、「健康寿命の延伸への取り組み」、「健康維持への取り組み」、「病気になる前に健康状態に戻すための取り組み」、「地域包括ケアシステムへの対応」等を中心に、新たな健康関連事業の研究を行い、事業化に向け取り組んでおります。さらに、新規事業に関する営業戦略の立案と実行及び営業現場への支援・推進を行う組織を新設し販売力の強化に取り組む等、事業体制の整備も推進し、今後も「人々の健康に貢献する」という当社の理念のもと、新規事業の創出を目指してまいります。

このような活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、115,251百万円（前年同期比36.5%増）となりました。売上原価率は58.3%と前年同期比4.6ポイント上昇したものの、売上総利益は48,086百万円（同23.0%増）となりました。また、販売費及び一般管理費については、33,300百万円（同33.3%増）となりました。その結果、営業利益は14,786百万円（同4.7%増）となりましたが、デリバティブ評価損が発生したことにより経常利益は13,045百万円（同15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,447百万円（同13.9%減）となりました。

国内の売上高は、2019年10月と2020年4月に行われた薬価改定の影響や新型コロナウイルス感染症の感染拡大による一部の影響がありながらも近年追補品等の売上が順調に推移し、88,323百万円（前年同期比4.6%増）となりました。売上原価率は53.9%と前年同期比0.2ポイント上昇し、売上総利益は40,758百万円（同4.2%増）となりました。また、販売費及び一般管理費については、人件費、研究開発費、支払手数料等の増加、Towa HD買収によるのれん償却費の発生等により26,186百万円（同4.8%増）となりました。その結果、営業利益は14,571百万円（同3.2%増）となりました。

海外の売上高は26,928百万円、売上原価率は72.8%、売上総利益は7,328百万円となりました。また、販売費及び一般管理費については、7,114百万円となりました。その結果、営業利益は214百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、237,673百万円となり、前連結会計年度末比7,656百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加5,156百万円、原材料及び貯蔵品の増加3,695百万円などがあったことによるものであります。

負債につきましては、125,932百万円となり、前連結会計年度末比581百万円の増加となりました。その主な要因は新株予約権付社債の減少10,869百万円、未払法人税等の減少3,563百万円などがあったものの、長期借入金の増加15,531百万円などがあったことによるものであります。

純資産につきましては、111,740百万円となり、前連結会計年度末比7,075百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加6,947百万円などによるものであります。

その結果、自己資本比率は47.0%となりました。

※Towa HDとの企業結合について、前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表した2021年3月期の連結業績予想を修正いたします。

詳細は本日（2021年2月12日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,713	17,174
受取手形及び売掛金	35,191	40,347
電子記録債権	6,401	7,868
商品及び製品	24,659	28,395
仕掛品	8,339	8,889
原材料及び貯蔵品	18,051	21,747
その他	10,188	7,432
貸倒引当金	△20	△43
流動資産合計	121,525	131,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,560	49,711
機械装置及び運搬具(純額)	13,033	12,846
土地	12,874	13,194
建設仮勘定	4,936	6,285
その他(純額)	2,224	2,196
有形固定資産合計	81,629	84,234
無形固定資産		
のれん	7,622	7,143
その他	7,911	7,588
無形固定資産合計	15,534	14,732
投資その他の資産		
投資有価証券	455	527
退職給付に係る資産	27	28
その他	10,951	6,472
貸倒引当金	△107	△134
投資その他の資産合計	11,327	6,894
固定資産合計	108,491	105,860
資産合計	230,016	237,673

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,585	10,688
電子記録債務	11,147	12,439
短期借入金	21,368	21,364
1年内返済予定の長期借入金	6,767	6,552
未払法人税等	4,060	497
引当金	54	66
その他	17,180	14,538
流動負債合計	70,164	66,148
固定負債		
新株予約権付社債	15,024	4,154
長期借入金	36,640	52,171
退職給付に係る負債	364	391
その他	3,157	3,067
固定負債合計	55,187	59,784
負債合計	125,351	125,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,717	4,717
資本剰余金	7,870	7,834
利益剰余金	97,171	104,118
自己株式	△5,627	△5,626
株主資本合計	104,132	111,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	114
為替換算調整勘定	453	581
その他の包括利益累計額合計	532	696
純資産合計	104,665	111,740
負債純資産合計	230,016	237,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
売上高	84,405	115,251
売上原価	45,300	67,164
売上総利益	39,105	48,086
販売費及び一般管理費	24,983	33,300
営業利益	14,122	14,786
営業外収益		
受取利息	62	22
受取配当金	4	5
補助金収入	139	205
為替差益	243	248
デリバティブ評価益	677	—
その他	294	334
営業外収益合計	1,422	816
営業外費用		
支払利息	95	139
デリバティブ評価損	—	2,345
その他	18	72
営業外費用合計	114	2,557
経常利益	15,430	13,045
特別利益		
固定資産売却益	0	106
特別利益合計	0	106
特別損失		
固定資産処分損	1	163
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	1	169
税金等調整前四半期純利益	15,429	12,982
法人税等	4,459	3,535
四半期純利益	10,969	9,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,969	9,447

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	10,969	9,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	35
繰延ヘッジ損益	43	—
為替換算調整勘定	—	128
その他の包括利益合計	63	163
四半期包括利益	11,033	9,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,033	9,610
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。